

米子市教育委員会 不登校児童生徒の現状と対策に係る事業について
～すべてのこどもが成長する場へのアクセス 100%をめざして～

1. 不登校児童生徒数の推移

【小学校】R元：83名 R2：99名 R3：106名 R4：117名 R5：171名
【中学校】R元：126名 R2：92名 R3：118名 R4：181名 R5：238名

2. 米子市の取組

米子市（組合）立小中学校において、不登校児童生徒数は年々増加しており、このことへの対応は、市、各校にとって喫緊の課題である。米子市教育委員会としては、以下の点を重視し、施策を講じている。

- すべてのこどもが成長する場へのアクセス 100%をめざす。
- 新たな不登校が生じない学校体制づくりと機関連携の充実
 - 児童生徒が安心して教育を受けられる魅力ある学校づくり
 - 個々の不登校児童生徒の状況に応じた支援の推進
- こども総本部を中心とした、就学前との切れ目ない支援体制

3. 不登校対策に係る各事業について（R6については6月末時点の数値）

(1) スクールソーシャルワーカー活用事業

① 【配置状況及び受付、対応ケースについて】（R2～）

R2：3名 100件 R3：3名 115件 R4：8名 257件

R5：10名 498件（内ケースとして対応した件数 186件※）

※R5対応の内、問題が解決または支援中であるが好転した割合 61.2%

R6：10名 ケースとして対応した件数 102件

(2) 教育支援センター～ぷらっとホーム～運営事業

① 【利用児童生徒について】（R4～）

利用した児童生徒数 R4：37人 R5：46人 R6：18人

中学校3年生進学数 R4：100% R5：100%

年度内復帰した児童生徒 R4：6人 R5：7人

② 【R6年度取組】

・送迎、ICTを活用した自宅学習支援の実施

→送迎については、実施可能な体制は整備している。送迎が必要であると学校教育課が判断した場合に実施することとしているが、現時点で実績はなし。

自宅学習支援については、県の自宅学習支援事業の実施と合わせ、候補者を調整し実施する。（調整…8月中 実施…2学期より）

・施設改修工事の実施

→改修箇所・・・①旧職員室→学習室及びスタッフルームへ

②トイレ →洋式化を含めた整備

・SCによる児童生徒、保護者との面談実施

→実施数・・・児童生徒 5人 保護者 4人

(3) 多様な学び推進事業

① 【設置校、利用児童生徒数について】（R3～）

設置校 R3：1校 R4：3校 R5：6校 R6：7校

利用した児童生徒数 R3：8人 R4：25人 R5：73人 R6：53人

(4) いい学び推進事業（すらのID発行）

・長期欠席児童生徒等への支援として、各校の希望に応じてIDを発行している。

・教育支援センターの利用者については、通所決定にあわせてIDを発行している。

(5) 民間フリースクールへの補助事業（米子市フリースクール利用料等補助金）

・県及び市が認定した民間施設または教育支援センターに通所する米子市内小中学校在籍児童生徒を対象に、通所費及び交通費を補助する。